

校長様より

令和三年十二月二十日

岸和田市立北中学校 松下孝徳

早いものであと十日もすれば令和二年も終わります。
十二月も師走とありますが、師走というのは中国ではお坊様が
走り回らなければいけないほど忙しい時期だそうです。今年
はコロナに始まりコロナに終わる一年でした。誰がこの様な
流れを今年の初めに想像したでしょうか。今や全世界
での感染者数約七千二百六十万人、死者数百六十二万人
です。日本では感染者数約十万人、死者数二千五百人
超となっています。(十二月十二日現在)今も第三波が猛威を
ふるい終息のめどはたっていない。フグレーキを踏みながら
アクセルを踏んでいる状態」であつた世の中の流れも、いよいよブ
レーキのみを踏み込む状態へと移行し、病院は医療崩壊寸前
の状態、耐え忍んでいます。ワクチンが開発され欧米では接種が
始まりました。日本に入ってくるのは六月頃だそうです。まず
初めに医療従事者、高齢者の方から接種が始まるとして我々
が摂取できるのはおそらく来年秋季以降くらいになります予
想されます。とすれば今の様な状態があと一年近く続くの
かと思われ、つらい気持ちになります。

その様な中で北中の生徒たちは様々な行事や学習

を通じて思い出と絆を育んできました。そして学び創がでま
中学校が日本で初めてできた七十二年間の中で一番長い二学
期を終験しました。

十二月は全校集会がです放送集会でこの様子を話
をしました。この二学期はたくさん経験をしたと思いま
す。もうすぐ令和二年が終わろうとしています。が今一度
四月からの自分を振り返ってみませんか。内省してみ
ましよう。内省とは自分自身を振り返ることであり、前を
向けて進んでいくために足元を固めるためのものです。
自分自身の課題となるところは何か。自分自身の成果は
何かを見極めて次年への目標を決めましよう。コロナ禍
にあって自分ができていること、しなぐてはげないことを改めて
考え、新年を迎えてほしいと思います。

此中学校の教育活動にご支援、ご協力賜り誠にあり
がとうございました。様々な課題も多いです。令和三年も
保護者の皆様とともに一つずつ乗り越えていきたいと思
います。年末も自粛の中での年越しになりそうです
が来年は良い年になってほしいです

良々あ年をお迎えください。